



アイントーフェン市の改革派教会でのコンサート



デュッセルドルフ日本語教会礼拝での賛美

## 工藤篤子メールマガジン 25号 2003.03.25

### ●オランダでのコンサート ●与えられた声

こんにちは。工藤篤子です。

ハンブルクでは春を知らせる鳥の美しい歌声で目覚める季節となりました。また、このところ、素晴らしい青空の日が続いています。イラク戦争で重くなっている私たちの心に、「どんなときにも私を見上げなさい。」と主がおっしゃっているかのようです。

今月は以下のように賛美奉仕をさせていただきました。

3月 15日(土) オランダ、アイントーフェン市の改革派教会でのコンサート

16日(日) ドイツのデュッセルドルフ日本語教会礼拝での賛美

18日(火) アイントーフェンの日本人集会にて賛美

23日(日) ドイツ、ローテンブルグ/ビュメ市、プロクリスト賛美

オランダのアイントーフェンとドイツのデュッセルドルフは、どちらも国境から近いため、わずか一時間ちょっとで行き来できます。どの集会も大きな主の導きを感じた、祝されたコンサートとなりました。また、それぞれの集会の皆さんと幸いなお交わりをさせていただきました。そして、今回ほど、皆さんのお祈りの力を大きく感じたコンサートはありませんでした。15日には、9通の「コンサートのために祈っています。」というメールを各地から頂き、大変励まされました。もちろん、メールをいただくいただかないに関係なく、たくさんの方々がお祈り下さいました。感謝いたします！

### ■オランダという国

日本とそれほど変わらない面積のオスロに450万人しか住んでいないのとは違って、九州ほどの広さのオランダには、1600万もの人口が密集しています。隣国ドイツとは、暗い気候もさほど違わないのに、オランダ人にはいつも開放的な気質を感じます。今回のオランダ訪問では、もう、クロッカスやアネモネがいたるところに咲き乱れていました。さすが花の国です。またゴッホ生誕150年にあたる今年のアムステルダムゴッホ美術館では、特別な展覧会が企画されています。

ところで、ここはカルヴァン主義（改革派）の信仰が根付いた国です。ルター派の教会が中心のドイツでは、ルターの賛美論によって、教会音楽が非常に盛んになりました。けれども、楽器と世的なものをいっさい排除した改革派の教会では、賛美はア・カペラの詩篇歌が中心になりました。しかし、最近ではオルガン、ピアノを使用する教会も多くなってきました。私が奉仕させていただいた改革派教会も、オルガニストが4人もいるとのことでした。時代と共に、オランダの改革派も教会によって賛美のあり方が変わってきたようです。

---

## ♪与えられた声♪

今回、気管支炎が治るのに3週間もかかり、もう大丈夫、と思ってオランダへ行ったのですが、練習しているうちに、一定の音程で声帯が合わなくなりました。気管支炎の後遺症で、声を出すに従って痰が絡んでしまうためです。

声帯というのは二つのくちびるのような弁から成っていて、その二つの弁がピッタリと合って振動する時に声が出るのです。その弁がきちんと合わないで隙間ができると、かすれ声、息もれ声になってしまいます。「地中海ソプラノ」というよりは、「死海ソプラノ」といった声です。最初はどうかと思ったのですが、徐々に、主がこのような声でも、明日のコンサートを伝道のために用いてくださるに違いないと思いました。けれども、ピアニストのペイトン朝子さんが教会の皆さんに、「アツコさんの声のために祈ってください！」と連絡して下さったのでした。その皆さんのお祈りのおかげで、コンサートでは、前日のかすれ声が嘘のように、いつもの声で賛美することができたのです。

私はこれまで、全く発声が分からなくなるのがよくありました。ですから練習の時には、よく声がひっくり返ったり変な声が出たりしました。その声を聞いて、ピアニストはよくお腹を抱えて笑い転げたものでした。ところが本番になると、ちゃんと声が出るのです。ですから、声は必要な時に主が与えてくださるもの、といつも思っていました。けれどもミニストリーズを設立してからは歌う機会が多くなり、声が疲れることは時々あっても、発声が分からなくなることはなくなりました。でも、最近、逆に、声は主が与えてくださるものという思いが薄れていたように思うのです。今回は、「声は主が与えて下さるもの」ということを再確認させていただきました。それも、たくさんの皆さんのお祈りのおかげだったのです。感謝いたします！

--

私はいよいよ31日、日本へ出発いたします。日本到着は4月1日です。次号は日本からお便りいたしますね。皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。

工藤篤子

♪                      ♪                      ♪                      ♪                      ♪                      ♪                      ♪                      ♪                      ♪

## 《 お祈り下さい 》

●4月5日（土）、6日（日）新潟に住む、イスラエルの墨彩画で有名な藤井克之さんの絵画展開催を記念して、ディナーコンサートをさせていただきます。藤井さんの絵画展とコンサート企画の目的は伝道です。幸いにチケットはすでに完売したとのこと。どうぞ伝道のよいチャンスになりますようお願いください。

●4月11日（金）は、愛知県一宮市の一宮福祉会館で主催される、福音同盟キリスト教会のレディス・ランチョンにて賛美と証しをさせていただきます。会費は食事付きで、3500円。近郊の方は、お知り合いの方をお誘いの上、是非ご参加ください。連絡先は飯塚三千子さんです。（Tel.& Fax 0586-77-0834）